

ペットボトルはどんなものに生まれ変わるの？

飲み物の仕事

リサイクルの仕事

環境にやさしい仕事



一般社団法人
全国清涼飲料連合会
https://www.j-sda.or.jp/



清涼飲料水の国内生産量のうち79%を占めるペットボトルは、世界トップレベルの86.9%もリサイクルされています。どのようなものに生まれ変わるのか？ 全国清涼飲料連合会に聞きました。

A

新しいペットボトルに生まれ変わったり、食品トレイや衣類などにも再利用されているよ！

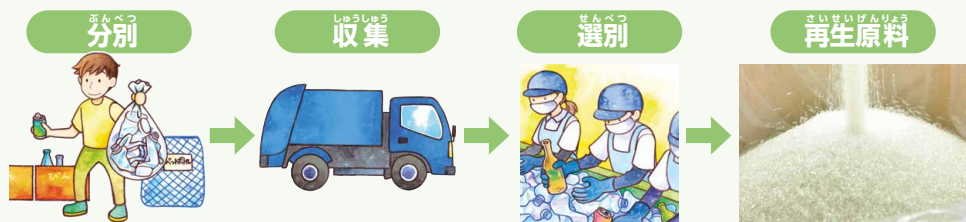
ペットボトルは資源だから、ポイ捨てしちゃダメなんだね。

みんなの取り組みで、もっと高度なリサイクルへ



▲ペットボトルはペットボトルへ。ボトルには再生資源として利用されるための識別マークがついています。数字の「1」はポリエチレンテレフタレートの印。

ペットボトルはポリエチレンテレフタレートという単体の素材からできています。リサイクルの流れは、家庭の場合、飲んだ後のペットボトルをキレイにして**分別**→これを自治体の方が**収集**→ペットボトルだけを**選別**してペールにして圧縮→粉々のフレークやペレットなどの**再生原料**に。こうして、再びペットボトルになったり、食品トレイや衣類など、さまざまな製品に生まれ変わったりします。



リサイクルの入り口がみなさんの分別です。ごみや飲み残しのあるペットボトルは、リサイクルできないものとして排除されてしまいます。

ペットボトルは地上資源です！

ペットボトルは資源循環します

答えてくれた人

一般社団法人全国清涼飲料連合会

推進部広報担当 稲野結子さん(左)、甲斐喜代美さん(右)

全国清涼飲料連合会(全清飲)は、清涼飲料水を作る会社などの会員230社、賛助会員148社が集まった団体です。清涼飲料水の生産量は年間2323万kℓ(2023年)。日本の子どもから大人まで全員が毎日500mlペットボトルを1本飲んでいる計算になります。

飲み終わったペットボトルは、正しく処理していただくことで資源として循環します。妨げとなるのが飲み残しや、ついたままのキャップやラベル。また外出先ではリサイクルボックスと一緒に入っているゴミなどの異物です。

混ざればゴミ。分ければ資源。きちんと分けると、リサイクルの品質が高まります。

脱炭素に貢献！プラスチックリサイクルのトップランナー

「脱炭素」という言葉を知っていますか？(P.16のマンガ参照) 二酸化炭素排出量を減らすペットボトルのリサイクルは日本が2022年度86.9%と世界トップクラスで、プラスチックのリサイクルのトップランナーとして注目されています。

飲み終わったペットボトルを回収して、再生樹脂として再利用すると、石油由来の原料から新たに製造するのに比べて二酸化炭素の排出量を6割近く削減できます。

1 飲み終わったら きれいに 分別収集へ

飲み終わったペットボトルをどのようにしていますか？右の図のようにするのが、正しいルールです。こうしてから自治体のルールに従って資源回収に出しましょう。



2 リサイクルボックスに ゴミをポイ捨て しないでね！



自動販売機の横に設置しているリサイクルボックスに、「飲み残しがあるペットボトル」や、プラカップなどのゴミを捨てる人がいます。リサイクルの質が下がってしまう上に、選別作業が大変です。

「ボトルにも！」 「トレイにも！」 「衣類にも！」 「日用品にも！」



ペットボトルは いろんなものに生まれ変わります

あれこれ からのお 願いカ エル

